



ジョホール日本人学校 Japanese School Johor

学校便り Respect



令和5年12月4日

No. 9

令和5(2023)年度 12月全校朝礼 校長 あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

早いもので、今年も12月をむかえました。12月は、1年間をしめくる大切な月となります。皆さんにとってこの1年間は、どうでしたか。しっかりと振り返って、新しい年を迎える準備をしていきましょう。

11月22日に、マレーシアのいくつかの学校に届いた、爆破予告メールに関してお話をしました。その後、予告が届いた学校の先生にお話をうかがうと、緊急に避難し、地元の警察が校内を調べ、安全が確認できてから学校を再開したそうです。どの学校でも爆弾は見つかりませんでした。とても混乱したとのことでした。JSJには、メールは届いていませんが、この様なことを想定した、避難訓練を実施しなければと考えています。

なぜ、このようなメールが発信されたのか、現時点では原因はわかりませんが、今、世界で起こっている対立に関係があるのではという報道もあるようです。その対立とは、イスラエルという国とパレスチナの問題です。

少し難しい話になりますが、今後の世界を考えるうえで知っておくべきことであると思いますので説明します。今あるイスラエルという国は、ユダヤ人と呼ばれる人々が1948年につくりました。実は、ここにはかつてユダヤ人の国があったのですが、2000年前に、ローマ軍に滅ぼされ、ユダヤ人は国を失い世界中に散らばって住むことになりました。つまり、国を持たない民族になったのです。その国を2000年ぶりに復活させたのが現在のイスラエルです。ですから、自分たちの国を失いたくないという強い気持ちを持っています。ところが、ユダヤ人が出て行ったあと、その同じ場所では、パレスチナ人と呼ばれる人々が生活をしていました。2000年ぶりに、ユダヤ人が戻り国を作るとなると、今度は、パレスチナ人が土地を失うことになりました。つまり、同じ土地を2つの民族で奪いあうという対立構造が出来上がったのです。自分たち同士だけではなく、それぞれを支持する勢力も加えて、何度も争いを繰り返してきましたが、根本的な解決にはいたっていません。人類が抱える本当に難しい問題です。

この問題の解決に、私たちが直接的にできることは少ないかもしれませんが、しかし、何もできないわけでもありません。私は、学校という場で、平和を考えると、最も大切なことは、自分たちの周りから、まず平和や友好を実現していくことだと思います。一つ一つは、小さな輪かもしれませんが、時間がかかってもそれが最も確実な方法ではないでしょうか？法律や条約で、対立にブレーキをかけることができたとしても、人々の心が変わらなければ、紛争の火種は消えません。そして、いつかまた火を噴くことになるのではないのでしょうか。

本年度、JSJでは、『マレー文化の日』や『日本文化の日』を実施したり、EC校を始め、いくつかの学校と交流を深めています。これらは、単に交流することが目的ではありません。交流を通して、より良い世界を作ることのできる人間に、みなさんひとり一人がなるための取り組みです。このことは、海外にある日本人学校の、大きな使命です。どうか、ここにいる皆さんは、様々な取り組みを通して、自分自身の心に平和の種を植え、育てていってください。



SDGs 節電プロジェクト	2022年11月使用電力	2023年11月使用電力	今月の節電量	累計節電量
11月の結果	12797kwh	12753kwh	44kwh	-6700kwh

◎ 保護者の皆様へ

- 1 11月は、百人一首大会、お話の会等でご尽力いただき、まことにありがとうございました。また、授業参観・学級談では、ご多用な中ご来校いただき、心より感謝申し上げます。
- 2 12月20日(水)・21日(木)には、学期末の面談が予定されております。有意義な面談となりますよう、ご協力をお願いいたします。
- 3 年度末に近づいてまいりました。保護者の方のご帰国やご移動に伴う、お子様方の転出等がございましたら、判明した段階で、まず各担任までご一報いただければ幸いです。また、後任の方のお子様で、ジョホール日本人学校への入学・転学のご予定がございましたら、あわせてご一報をお願いいたします。

◎ 学校生活の様子(11月)



百人一首大会(2023. 11. 07)



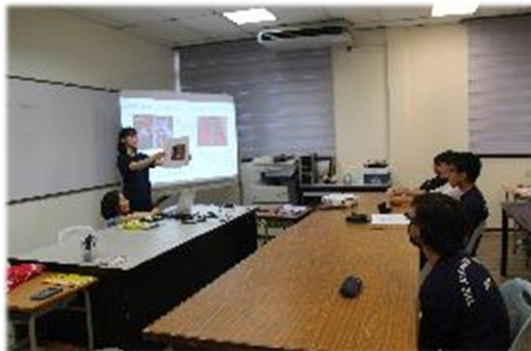
小学部遠足(2023. 11. 08)



縦割り活動(2023. 11. 14)



授業参観(2023. 11. 18)



中学部英語プレゼンテーション(2023. 11. 21)



全校レクリエーション(2023. 11. 24)